

# 高校向け小論文対策講座 のご案内

Avalon Consulting株式会社 代表取締役  
ホワイトアカデミー代表 竹内健登

# ホワイトアカデミーのご紹介



## 概要

- ・高大接続型のキャリア教育機関。受験支援と就活支援を通じて、人生の質を向上させる塾。
- ・高等部：総合型選抜・推薦入試対策塾。日東駒専～早慶・国立大学まで対応。
- ・大学部：一流企業・ホワイト企業を目指す大学生向け就活指導塾・ビジネススクール。

高等部



## 教育理念～戦略的情報発信力の養成～

- ・戦略的情報発信力 = 目標を達成するために他者を説得して動かしていく力。論理的思考力と情報リテラシー(情報の収拾・加工・発信する力)の2つで構成。
- ・受験領域では小論文、志望理由書、エッセイ、プレゼンテーション、集団討論、面接で活用。
- ・就活領域ではエントリーシート、面接、ビジネス企画立案などで活用。

大学部



# その他メディア掲載実績一例

- AERA(12月13日発売の早慶就活特集)
- 日経スタイル
- ラジオ日経
- バラいろダンディ（東京MXTV）
- 企業魂（東京MXTV）
- あさチャン！（TBSテレビ）
- 一個人
- non-no
- 女性自身
- PAVONE
- 週刊朝日
- ダイヤモンドスタイル



# ホワイトアカデミー高等部のご紹介

## 概要

- ・高校生が総合型選抜・公募推薦で難関大学に入るための個別指導塾
- ・合格できなければ全額返金、の合格保証制度が好評。2020年度は合格率100%、2021年度は95%を達成。
- ・生徒の在籍校は、中大附属、聖徳学園、麗澤、目黒日大、駒沢、日大桜華、実践学園、立正付属など



## 指導内容

- ・論理的思考力養成
- ・英検、評定平均対策
- ・志望校の出願書類対策（志望理由書、自己推薦書、課題レポート等）
- ・自由研究のコンサルティング
- ・小論文指導
- ・面接指導
- ・プレゼンテーション指導
- ・集団討論指導

## 合格実績

慶應大学/上智大学/同志社大学/新潟大学/中央大学/日本大学/東海大学/帝京大学など

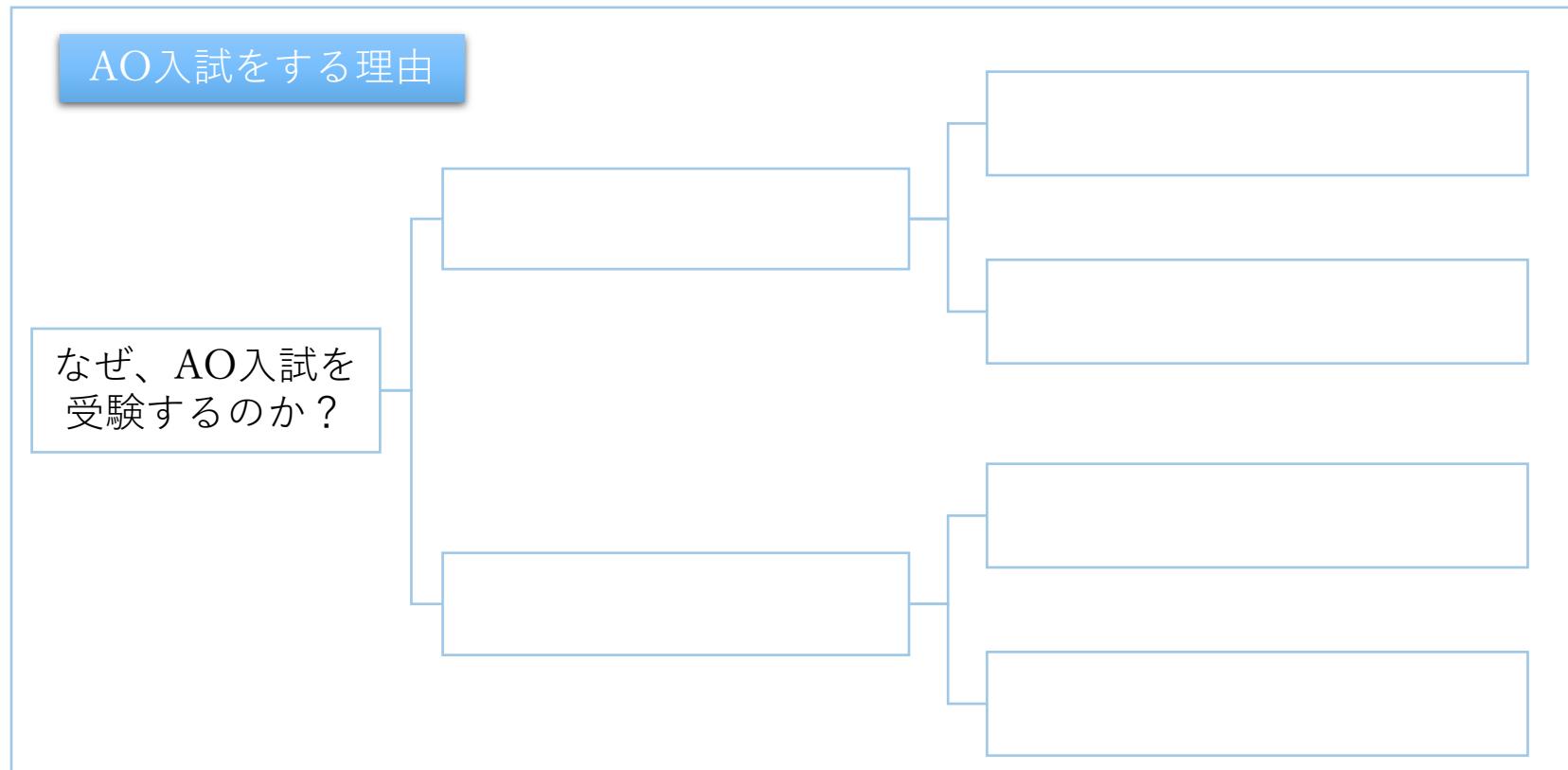
# 小論文対策講座の具体的なカリキュラム ～週1授業で、3ヶ月完結～

1. 総合型選抜・推薦入試における小論文の位置付け
2. 小論文試験とは～出題意図と採点基準～
3. 小論文回答の思考法
4. 小論文の構成
5. 問題形式ごとの小論文回答手順
6. 学部ごとの頻出時事テーマ
7. 小論文演習1
8. 小論文演習2
9. 小論文演習3
10. 小論文演習4
11. 小論文演習5
12. 総合型選抜・推薦入試に向けてやるべきこと

# 内容例：WHYツリー

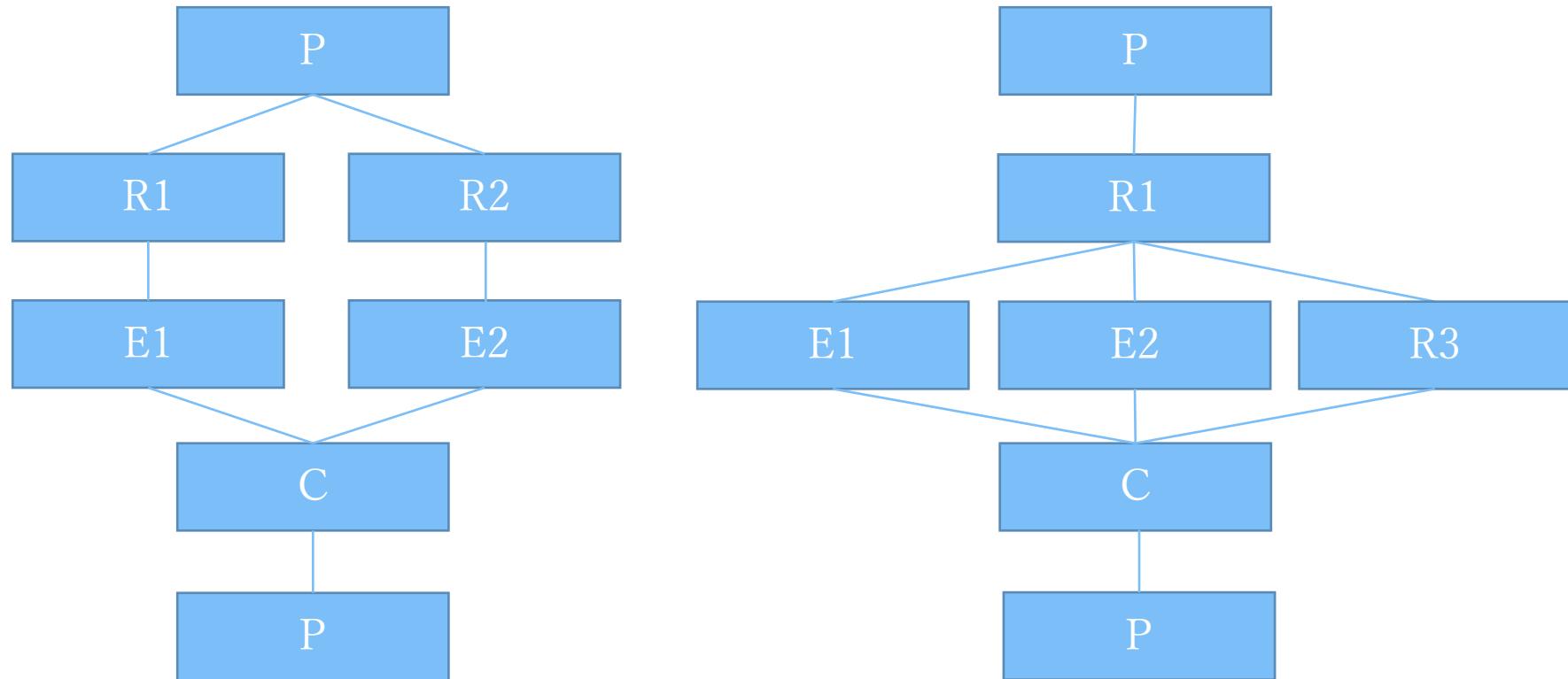
問：「なぜ、AO入試を受験をするのか？」のWHYツリーを作成せよ

※3階層以上で考えてください。ただし、階層ごとの分岐数は自由です。



# 内容例：小論文の構成

PREPと列挙・追加、そして譲歩(C)を融合させることで、より説得力の高い構文を作れます。字数が足りない時にも最適です。



# 担当講師のご紹介

## 竹内健登(たけうち けんと)



東京大学工学部卒。デロイトトーマツグループで人事・採用支援業務に従事したのち、就活塾ホワイトアカデミーを創立・経営。これまで1000人以上の就活をサポート。塾はホワイト企業内定率100%を誇り、**ホワイト企業の内定が出なければ費用を全額返金**する返金保証制度が好評。著書に『子どもを一流ホワイト企業に内定させる方法』(日経BP刊)、『就活の教科書』(TAC出版)などがある。塾のYouTubeチャンネルは月間再生数15万、ブログは20万PVと人気。**大学の教員向けの就職指導研修**なども行う。

YouTube : 就活塾 ホワイトアカデミー



# 小論文の上達イメージ(受講前)

- 課題：女性の社会進出を促す方策について400字で論ぜよ。
- 私は、女性の社会進出が増えるためには女性が働きやすい環境をつくることが大切だと考える。なぜなら、少子高齢化により労働者不足が表面化されており女性の社会進出が必要だからだ。近代の日本は男性が働き女性が家事をするという固定観念に縛られている。このような考え方を持っている国は日本を含め少数である。女性が働くことのメリットとしては、男性からの視点だけでなく女性の立場からの見解が増えることだ。男性が男性の仕組みを最も理解しているように女性にも同様なことが言える。つまり、近代の日本の企業に女性を加えることは様々な考えを持つようになるため、結果として企業の利益向上に繋がるだろう。確かに、男性が家事、女性が企業で働くようにすればいいのではないかという人もいるだろう。しかし、異性の考え方を両方持つことが過去にない発想を生むだろう。以上の事から、女性が働く環境を作ることが今後の社会に良い影響を与えると考える。

# 小論文の上達イメージ(受講後)

- 課題：女性の社会進出を促す方策について400字で論ぜよ。
- 私は、女性の社会進出が増えるためには女性が働きやすい環境をつくることが大切だと考える。なぜなら、少子高齢化により労働者不足が表面化されており女性の社会進出が必要だからだ。この点について、女性の社会進出が未達成な理由を筆者は述べているが、私は2つの取り組みによって解決できると考える。1つは、復帰した女性が管理職や役員に就ける制度を思い切って設けることだ。これにより、キャリア形成やロールモデルについての原因が解決される。2つめは、筆者の言う通りベビーシッター代金などを企業が折半することで女性が働く時間を企業が確保することだ。こうすることで、女性が働きやすい環境が整備され、女性の立場からの見解が増えることで、企業の利益向上に繋がるだろう。以上の事から、女性が働く環境を作ることが今後の社会に良い影響を与えると考える。

# 過去受講者の声(1)

- 小論文については苦手意識があるので、そちらについても書き方の型を教えてもらったり大量の演習問題を解いていったりしました。毎週の授業で自分が書いた小論文を添削してもらい、その度に論理構造などについて教えてもらったので、それが現代文の文章読解にも活きたと思います。(慶應大学文学部合格/H.Tさん)
- 小論文はホワイトアカデミーの演習問題をこなしていくうちに、書き方や構文の理解が深まり、どんどん力がつきました。そのあとは、ケインズとかアダムスミスなどの経済学部でよく出るテーマについて小論文を書いていったことで、経済に関する知識が広がり、深みのある内容が書けるようになりました。最後には新潟大学の過去問と一緒に解いていただき、先生に採点・添削してもらったのでかなり自信がつきました。小論文は赤本を見ても答えが載っていなかったので、この部分は本当にありがとうございました。(新潟大学経済学部合格/K.Iさん)

## 過去受講者の声(2)

- 小論文はたくさんやれたのでそこが良かったです。マスコミで頻出の分野についてかなり多くの小論文演習を行えたし、本番の内容もやった内容から書けました。その甲斐あって、「こんな新聞学科の1年生でも書けないよ。」といわれました。(上智大学文学部新聞学科合格/N.Nさん)
- 講義を受けるまでは小論文の書き方が全然わからなくて不安だったんですけど、PREPなどの書き方を教えてもらって、「あ、そうやって書けばいいんだ！」と安心しました。その後に演習問題と一緒に先生と解いた時に、その場で解答を作って採点をしてくれたので、自分の小論文の点数がどれくらいで、何を直していくべきかがわかったので、非常に自信になりました。講義を受ける前に比べて、結構小論文は得意になったと思います。(帝京大学教育学部合格/K.Nさん)

# 受講料と実施形式

- 1人30万円(税抜)
- 週1回、放課後の時間で実施。オンラインも検討。
- 事前に宿題を与え、授業では積極的に発言させる反転学習形式を採用。
- 毎回の宿題は赤ペンで添削を実施。